

これからも、この町で暮らすために つなごう、地域の支え合い

買い物が大変・集まる場所がほしい・独居高齢者の見守りが必要…。そんな地域の困り事の解決に向け、住民主体の支え合いを後押しする仕組みが「生活支援体制整備事業」です。

支え合いを進める主役は、 地域の皆さんです

支え合いの活動内容は



市が決める

ではなく…

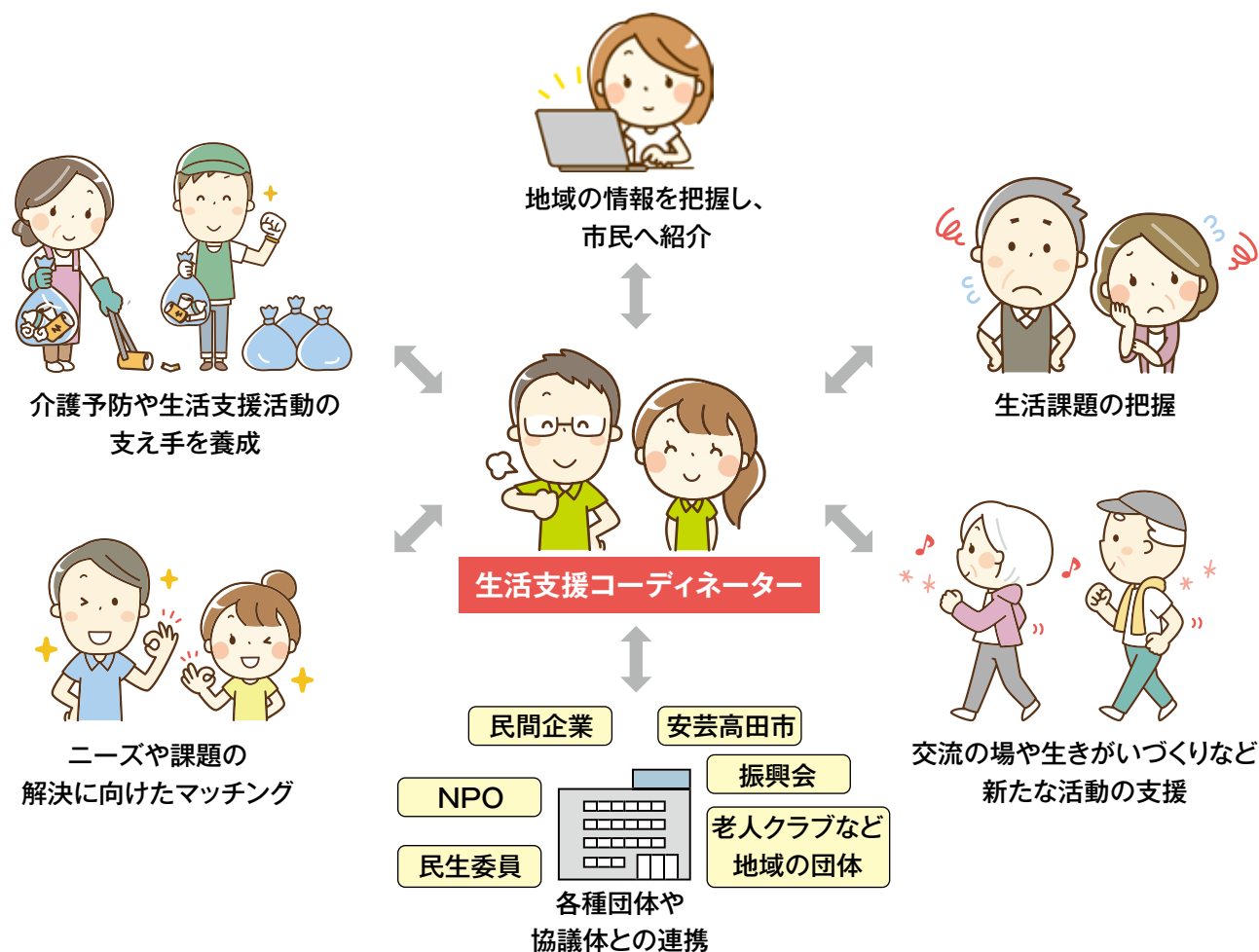


住民が主体的に
決める

市は活動を支援します。

生活支援体制整備事業は、市から「これやってください」とお願いするものではありません。制度として「このようにやってください」となると、地域の中では「そこまではできない」「担える人がいない」となることがあります。私たちの地域だったら、「この形ならできる」「ここまでだったらできる」といった、その地域にあった持続可能なやり方、仕組みづくりを応援していきます。

「生活支援体制整備事業」を支える 生活支援コーディネーターの役割



生活支援コーディネーターが応援

みんなで始める地域の取り組み

生活支援コーディネーターが、地域の皆さんと一緒に考えながら、人や団体をつないだり、活動場所を探したり、取り組みをサポートしています。

住民の思いから生まれた活動 おしゃべり会(甲田町)

制度や他地域での取り組みなど、生活支援コーディネーターさんから情報を頂いています。



おしゃべり会の皆さん。



月2回、10:00～12:00に開催。補助金は利用せず、1人1回100円の参加費で活動中。

“**気に掛けてくれる人がいる**”
安心とうれしさを実感

今年で3年目を迎えた「おしゃべり会」。集まって話す場所や機会が少ないという地域の課題をきっかけに、代表の水野さんを中心とした3人が立ち上げた交流の場です。地域内で声を掛け合い、現在は11人が参加しています。会場は甲立地域交流センター。活動が始める際に社会福祉協議会へ相談し、普段はおしゃべりを楽しみながら、体操や歌、ゲームなどを行い、年2回の社協の出前講座や市の健康届け隊なども利用しています。春には花見に出掛けることもあります。参加者の最高齢は97歳。来られない人がいると電話を掛けるなど、お互いを気に掛け合う関係も生まれています。

生活支援コーディネーターは、地域の皆さんの「集まる場所を作りたい」「困り事の手助けがしたい」などの「やってみたい」を形にするため、情報提供や、実現に向けた伴走支援も行います。活動を始めたい方は、まずは各町の生活支援コーディネーターへ気軽に相談してください。

〔生活支援コーディネーター窓口〕 安芸高田市社会福祉協議会 地域づくり推進課 ☎42-1333



例えばこんな活動があります

自分たちにできること、始めてみませんか？

地域食堂で交流

地域の皆さんが集まって食事をしながら交流を深めます。孤立防止や見守りにもつながります。

体操でフレイル予防

週1回集まって体操を行うことは、フレイル予防に効果があります。おしゃべりを楽しみ、仲間づくりにもつながります。

日常の困り事を支援

ごみ出し・買い物・草取りなど、ちょっとした困り事をお手伝い。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支えます。

問社会福祉課 地域福祉係 ☎お太助フォン 42-5615